

特 許 紹 介

特許紹介では、富山県工業技術センター保有の単独特許を、わかりやすく解説していきます。
今回は、そのうちの2件についてご紹介します。
ご活用についてはお気軽に当センター企画情報課（TEL. 0766-21-2121）までお問合せください。

蓋接合、流路への機能分子固定が容易なマイクロ流体チップ

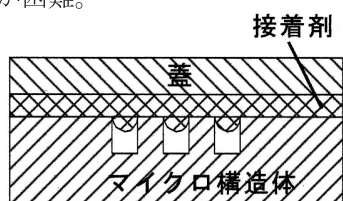
発明の名称：マイクロ流体チップ 特許番号：特許第 5802894号

○概要（発明の目的・効果等）

本発明は、上部が閉じたマイクロ流路チップで、流路内に機能分子を固定できるようにすることにより、それ自身が分析や検出の機能を有する高機能マイクロチップを提供することを目的とします。本発明の樹脂はそれ自体が反応性を有するために、このようなチップを製造するための蓋接合や機能分子固定を容易に行うことができます。

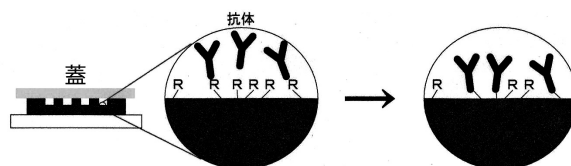
○従来技術のマイクロ流体チップ

- ・ 接着剤やプライマーの使用による蓋接着のため微細な流路が埋まる。
- ・ 表面が不活性であり流路への機能分子固定が困難。



○本発明のマイクロ流体チップ

- ・ 樹脂自体の官能基により表面反応性を有するため、蓋接合、流路への機能分子の固定が容易。
- ・ 表面に抗体などを固定することにより、機能性バイオチップなどとして使用できる。



マイクロ流路チップを用いた簡便に使えるマイクロリアクタ

発明の名称：マイクロリアクタ 特許番号：特許第 5838418号

○概要（発明の目的・効果等）

本発明は、マイクロ流路チップを用いて容易に各種生化学反応、抗原・抗体反応、電気化学反応、合成反応等が実施できるマイクロリアクタを提供することを目的とします。これにより生体分子や細胞の分析、環境分析、食品分析などがコンパクトな装置により実施できるようにします。

○従来技術のマイクロリアクタ

- ・ マイクロ流路チップを用いたマイクロリアクタでは、チップ位置決め、チューブ接続などが面倒。
- ・ またマイクロ流路の蓋材が柔軟であるため、密閉性や容量精度に問題がある。

○本発明のマイクロリアクタ

- ・ 独自の位置合わせ、チューブ接続機構により使用が容易で、蓋材の選定により漏れや容量の問題がない。

